



【団体概要】

北総地域に広がる里山を暮らしとともにまもるため、自然と生きものと人間が共生する21世紀型のまちづくりを目指して、印西市、白井市、印旛村、本埜村で活動する16の市民団体からなる連合体。

会員数：16団体 設立：2008年7月

活動紹介

【主な活動実績】

- 3回のタウンミーティングを開催し、生物多様性ちば県戦略県民会議に北総地域の保全策を提出。
- 2008年8月から、千葉の里山・森づくりプロジェクト推進事業に参画。
- 谷田、武西地区の緊急保全対策の実施
- 2009年1月『暮らしの中でまもり伝える命のにぎわい』をテーマに北総里山フェスタを実施。

【組織図】

（北総里山クラブ団体代表者会議）

- ・NPO法人ラーバン千葉ネットワーク ・NPO法人しろい環境塾
- ・北総生きもの研究会 ・印西ごみと暮らしを考える会 ・印西サシバの会
- ・印西水と暮らしを守る会 ・猫の綿畑 ・白井環境ネットワークの会
- ・小林住みよいまちづくり会 ・NPO法人いんざい子ども劇場
- ・白井の自然を考える会 ・いにはのアカガエルの里を守る会
- ・里山の会 ECOMO ・NPOせっけんの街 白井
- ・東邦大学理学部地理生態学研究室 ・文化アイデンティティ研究所

事務局

専門委員会
谷田、武西プロジェクト委員会

常任幹事会

モデル事業

谷田・武西地区動植物保全事業

■事業期間：平成20年9月1日～平成21年1月31日

■事業の目的：千葉ニュータウンに隣接する谷田・武西地区は、広大な森や草原、谷津田からなり、千葉県企業庁用地が散在している。そこに生息するオオタカをはじめとする様々な動植物を保全することを目的とする。

活動の内容



森のごみ拾いと森林浴

谷田、武西地区での自然観察会、ゴミの調査、水質検査、ごみ拾い、駅パネル展示などを実施し、谷田、武西地区に豊かな自然が残っていることを多くの市民にPRするとともに、この地域の保全・利活用の方向性を北総里山会議に提案した。毎週のパトロールの実施や立ち入り防止柵の設置により、この地域の生物多様性の人的阻害要因を排除する一歩とした。

湧水の下流の水質検査。線路で分断されているためか、水質に問題。（写真右）



今後の方向性

- ・谷田、武西地区に残る企業庁用地を中心に、持続可能な保全システムを作る。
- ・谷田、武西地区の保全・利活用をモデルに、北総地域全体の生物多様性と里山・自然を守っていくためのランドデザインとそれを実施するためのシステム作りを、多様な主体とともに検討していく。

問い合わせ先】代表：長谷川 雅美 メール：hokusousatoama@yahoo.co.jp
URL <http://hokusousatoyama.web.fc2.com/index.html>